

平成29年度 常置委員会だより N0.1

教育・環境委員会編

北海道PTA連合会

平成29年7月12日（水）発行

平成29年7月1日（土）に第1回常置委員会が開催されました。その内容をお知らせ致します。

1. 教育・環境委員会では、平成29年度、次のような内容で研究を進めていきます。

1 研究テーマ

『「大人ががんばる」「PTAががんばる」そして、「子どもが変わった」』

～ 大人の果たす役割と具体的な行動を通して ～

2 研究の視点

本委員会は、今日的な教育課題やPTA活動に関わる問題点等のうち、子どもの教育、生活・教育環境等に関することをテーマとして研究・協議し、全道の研究や実践の指針を提供することをねらいとしている。

子どもの健やかな成長のためには、大人の立場から子どもを取り巻く環境を見取り、子どもを取り巻く課題を把握し、解決に向けた具体的な取組の推進に努力していくことが重要であり、以下の具体的な視点に基づいて研究・協議を進めていく。

- (1) 生活リズムの向上をめざす活動のあり方
- (2) 豊かな心を育てる教育活動のあり方
- (3) 教育環境浄化と情報化社会のなかで子どもを守る活動のあり方

3 研究の内容

(1) 前年度までの取組

平成26年度は、「今必要な学校、家庭、地域・行政が一体となって取り組む『心を育てる教育活動』と課題」についてアンケート調査を実施した。平成27年度にアンケート結果から取組状況や課題の分析を行い、先進的な取組を選出して道Pホームページと研究集録に掲載し、次年度の道P研究大会で提言発表を行うこととした。平成28年度は、道P研究大会で、前年度に選出した三笠小学校PTAから提言発表をしていただいた。また、研究の重点項目を「情報化社会から子どもを守る活動」とし、平成30年度研究大会での提言発表を想定して

活動を進めた。さらに次年度以降の研究推進にあたり、年度末にP T A活動についてアンケート調査を実施した。

(2) 今年度の具体的な活動

- ①平成 28 年度に実施した「P T A活動に関するアンケート調査」の結果を分析し、平成 30 年度の重点項目設定や事例収集につなげる。
- ②「情報化社会のなかで子どもを守る活動」の実践事例から、平成 30 年度道P 研究大会旭川大会の分科会提言発表について準備する。
- ③各地区の実践交流や研究大会の報告を行い、今後の活動について検討する。

2. 次の方々が道P連教育・環境委員会の研究を推進しています。

委員長 ①萩 澤 教 達 (副会長・石 狩)
副委員長 ③干 山 毅 (副会長・函館市)
⑤鈴 木 章 夫 (副会長・オホーツク東部)
三 浦 崇 史 (副会長・道中校長会)
佐 藤 誠 (教師代表・千歳市北斗中学校長)

委員 ①和田 哲也 (後志) ②向山 直 (上川南部) ②佐久間政克 (稚内市)
③古館 和江 (檜山) ④渡邊 修二 (南空知) ④喜多 新二 (胆振東部)
⑤村上 博昭 (オホーツク西部) ⑤高橋 弘史 (帯広市)
⑤住尾 盛 (釧路市) ⑤和田 徳子 (根室)

*①②③④⑤は、ブロックを表しています。

*各常置委員会のこれまでの取り組みは、道P連のホームページの「常置委員会」をご覧ください。

北海道P T A連合会事務局

〒060-0003 札幌市中央区北3条西2丁目 共栄火災ビル7階

TEL (011) 251-6937 FAX (011) 210-0929

Eメールアドレス info@hokkaido-pta.jp